

梅津新聞

(古代編①)

2020年
5月12日 火曜日

常陸太田市郷土資料館
(西二町 2186)
TEL:0294-72-3201

常陸太田市はむかし、海だったってホント!?

常陸太田市北部にある里美牧場内遺跡群(里川町)から、後期旧石器時代(約3万年〜約1万2千年前)のものとされる石器が見つかりました。このことから、はるか昔から常陸太田市に人が住んでいたことがわかります。つづく縄文時代早期は、今と比べると気温が低く、標高が低い場所には針葉樹林が繁っていました。そのため、人々は十国峠遺跡(上大門町)やヘグリ

沢遺跡(小菅町)など標高の高い場所で生活していました。

前期になると森東貝塚や築崎貝塚(いずれも幡町)からヤマトシジミやハマグリが見つかります。気温が上がると、市の南部まで海であったことがわかります。

中期には縄文文化が最も発達します。森久保遺跡(小菅町)をはじめ、市内各地から数多くの縄文土器の破片が見つかります。

後期になると水口遺跡(折橋町)から

約3万年前	旧石器時代	
約12,000年前	縄文時代	草創期 市内各地に人が住みはじめる。
		早期・前期 縄目の文様の土器が作られる。貝塚が作られる。
		中期・後期 大規模な集落(人が集まって住んでいる場所)が作られる。
約4,000年前		
約2,500年前		晩期 遺跡の数が減ってくる。
約1,900年前	弥生時代	前期
		中期
		後期 市内南西部にこの時代のものと思われる大きな遺跡がたくさん見つかる。

土器って何?

土器とは、粘土をねって形をつくり、焼き固めた容器のことをいいます。使う目的によってさまざまな形をしています。

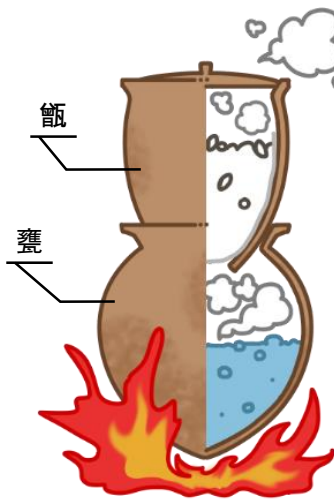
壺水や食べ物などを入れて、保存するための容器です。

坏食べ物などをもりつけるのに使われていました。足がついているものは高坏といい、儀式のときに使われたと考えられます。



煮おもに食材を煮たり炊いたりするときに使われていた土器です。火にかけてときに、早く熱が伝わりやすい形になっています。

飯麦などの穀物を蒸すための容器です。器の底には穴があいていて、布をしていて穀物を入れ、下から湯気をあてます。



おしゃれた縄文土器をつくらしてみよう

縄文時代につくられた縄文土器は、土器の表面に縄を押しついたり、粘土のひもをつけたりして、さまざまな文様がえがかれているのが特徴です。

次のページで、紙粘土を使った土器のつくり方を紹介します。文様のつけ方を参考に、おうちでオリジナルのおしゃれな縄文土器をつくってみましょう!

紙粘土で縄文土器風の
小物入れをつくってみよう

【用意するもの】

紙粘土・茶色の絵の具・縄やわりばし・
500ミリの空のペットボトル（あれば半分に切っておく）

【つくり方】

1. 紙粘土に茶色の絵の具を混ぜる。よくこねて色を均一にする。
 2. 紙粘土をひも状にのびし、輪にしてつまみ上げる。もしくは半分に切ったペットボトルの外側に紙粘土をはりつける。
 3. つなぎ目が目立たないように、指でこする。
 4. 縄やわりばしなどを使って、文様をつける。
- （左の「縄文土器の文様のつけ方」を参考にしてみましょう）



① ころがす

縄だけでなく、山形や楕円形につくった棒をころがす方法もあります。

② ひきずる

棒や竹のようなもので土器の表面をひきずりながら文様をえがきます。



縄文土器の
文様の
つけ方



③ おしつける

縄や貝殻を表面に押しつけて、立体的な文様をつくりま

④ はりつける

粘土でつくったひもや粒を貼りつけて、立体的な文様をつくりま

土を掘るとみえてくる、むかしの暮らしと用語集&展示品紹介

住居跡や古墳、また、そこから出てきたものなどから、当時の人々の暮らしを研究する学問を考古学といいます。常陸太田市の遺跡からはたくさん出土品が見つかっていて、それらの一部は郷土資料館梅津会館で展示されています。ここでは、郷土資料館で展示しているものを紹介しながら、考古学で使われる用語の解説をしていきます。

遺跡むかしの人の暮らしの跡がのこされている場所のこと。住居の柱跡や土器などから、どのように暮らしていたかがわかります。

貝塚縄文人が食べた貝殻やこわれた土器・石器、ていねいに埋葬されたペットや人の骨などが埋められています。こわ

れてしまった道具や死んでしまった仲間をあの世に送るための神聖な場所だったのでしよう。

石鏃石のやじり（弓矢の先の部分）です。石をわって作られました。

石斧写真上右は打製石斧（石を打ち割ってつくる石器）で、土を掘るために使いました。写真上左は



↑先端がうすくなっています。

磨製石斧（石を磨いてつくる石器）で、木を切り倒すときに使いました。



石棒縄文時代中期のは大型で、なかには1メートル以上のももあります。（展示しているのは約50センチ）

土偶人の形につくられた土製の人形です。その多くは女性の形をしていて、安産（子どもが無事に生まれること）や豊穣（穀物がたくさん実ること）を願うための儀式に使われたと考えられます。



【常陸太田市指定文化財】土偶（佐竹小学校付近から出土）